

稲門フィラテリー 第75号

2020年3月1日発行

早大応援部からの手紙

池澤 克就

1. 一枚のはがきから

ここに、戦後まもない時期に早大応援部が差し出した一枚のはがきがあります(図1)。宛先は「文京区本郷 東京大学内 応援団々長殿」となっています。消印は、昭和23年8月12日、世田谷南若林局という右書きの局名が読めます。このはがきをもとに、六大学野球の応援団について調べてみたいと思います。

東京六大学野球のリーグ戦は、最初から六つの大学が対戦していたわけではありません。発祥となったのは1903年(明治36年)に行われた早慶戦、つまり当初は二大学でした。1906年(明治39年)に応援が過熱したことを理由に一旦中断に追い込まれるものの、1914年(大正3年)に明治大学を加えた三大学でリーグ戦が開始されました。1917年(大正6年)には法政大学を加えた四大学、そして1921年(大正10年)には立教大学を加えた五大学でリーグ戦が行われるようになりました。そして、1925年(大正14年)に現在の東京大学にあたる東京帝国大学を加え、六大学による東京六大学野球連盟が正式に発足しました。



図1 早大応援部からのはがき(表)

2. はがきによる会議招集

さて、はがきの文面を見てみましょう(図2)。「残暑の候貴部益々ご活躍の事と思います。扱て秋季リーグも来月中旬より開始せられる

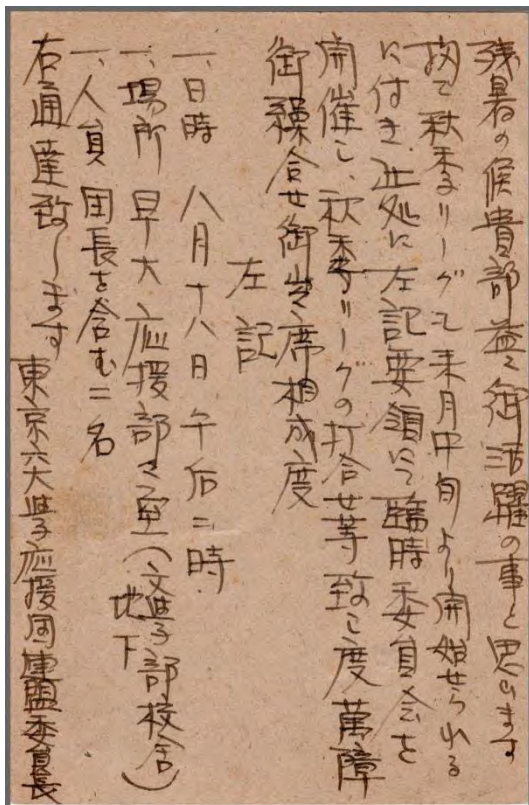


図2 早大応援部からのはがき(裏)

に付き此処に左記要領にて臨時委員会を開催し秋季リーグの打合せ等致し度万障繰合せ御出席相成度」

とあります。そして

「左記

一、日時 八月十八日午後二時

一、場所 早大応援部々室

(文学部校舍地下)

一、人員 団長を含む二名

右通達致します。

東京六大学応援団連盟委員長」

と締めくくられています。翌月に迫った秋季リーグに関する臨時委員会の会議招集であることがわかります。現在では、このような会議招集はメールや電話で簡単に済んでしまいま

すが、昭和23年当時は郵便による連絡がごく一般的に行われていたことがわかる史料です。文面から、「六大学応援団連盟」なる組織によって、六大学の応援団長が集められたことが伺えます。ここで、六大学野球における応援団の歴史について簡単に述べておきます。

3. 六大学の応援団

1905年(明治38年)、秋の野球早慶戦で応援隊長吉田信敬によるカレッジエールが行われました。その後、応援団が乱立した時期もありましたが1940年(昭和15年)からは応援技術部が代表として活躍することになりました。1946年(昭和21年)には、戦争によって消滅した応援技術部のかつての部員たちの奮闘により、大学当局公認の「早稲田大学応援部」が誕生しました。

図1のはがきは1948年(昭和23年)に差し出されています。応援団が創立して間もない時期に書かれたものであることがわかります。委員会の場所が早大応援部部室となっていることから、各大学の応援部の部室を持ち回りで利用し、こうした委員会が開催されていたとも考えられます。応援部部室に「文学部校舎地下」と補記されていますが、部室が応援部創部当時からここにあったのか、また、どの時代までこの場所に存在したのか、いずれ調べてみようと思っています。

4. 使われたはがきと切手から時代を読む

この通信には、昭和22年5月15日に発行された50銭の稲束はがきが使われています。はがき料金は昭和23年7月1日に50銭から2円に値上げされました。このはがきは、ちょうどお盆休みを挟んだ急な召集案内だったこと

から、急いで通知する必要があったのでしょうか。速達で差し出されています。速達料金は、それまで地域別料金制だったものが昭和 23 年 1 月 1 日から全国一律 15 円となったため、はがき料金 2 円と合わせて 17 円分の切手が貼られています。昭和 21 年 11 月 20 日に発行された 1 円 50 銭の錦帯橋は目打なし、5 円捕鯨(昭和 22 年 6 月 10 日発行)と 10 円らでん(昭和 23 年 4 月 1 日発行)は目打が施されており、戦後次第に経済が安定化する過渡期であることを物語っているとも言えるでしょう。

5. 最後の早慶戦と小泉信三

最近、慶応義塾長だった小泉信三の書簡を入手したので、「最後の早慶戦」のエピソードとともに紹介したいと思います。



図3 小泉信三の書簡(昭和 20 年 5 月 22 日差出)

早慶戦と言えば、歴史的に忘れられない一戦が 1943 年(昭和 18 年)10 月 16 日に行われています。戸塚球場で行われた「出陣学徒壮行早慶戦」です。太平洋戦時中、野球は

「敵性スポーツ」と見なされ、1943 年(昭和 18 年)には文部省よりリーグ解散令が発令、学徒出陣が決定しました。慶応野球部主将は、「ひとたび戦地に赴けば生きて故郷の土を踏むことは叶わないかもしれない。出来るならば最後に早稲田と試合をしたい」という思いを当時の慶応義塾長小泉信三に伝えました。小泉は「出陣する学徒たちに何かはなむけを」と野球部の申し出を受け入れ、早大野球部に試合を打診しました。さまざまな困難を乗り越え、両校の強い決意のもと早慶戦が実現しました。試合は 10 対 1 と早大が圧勝しましたが、試合終了後は両校の選手や学生がそれぞれの校歌や応援歌を斉唱。最後には出征する兵士を送り出す「海行かば水漬く屍」の厳粛な歌声が球場全体に鳴り響いたと言われています。この試合を最後に戦地に散った学生もいたことから、この一戦は「最後の早慶戦」と呼ばれています。



図4 最後の早慶戦(昭和 18 年 10 月 16 日)

図3 の書簡は戦局が厳しくなっていた昭和 20 年 5 月 22 日に差し出されています。最後の早慶戦開催の立役者小泉信三は、どのような思いでこの手紙をしたためていたのでしょうか。この書簡が、無言で歴史の一ページを語りかけてくるような気がします。(完)

スプーンの話

小川 義博

本会報 62 号の小林会員「トランプの話」の中に「当時、海外旅行の記念に集めるものとしては、地名の入ったスプーンが定番でした。」という文章を目にしたとき、どこかにしまい忘れたスプーンが存在が気になった。それから 4 年、戸棚の片隅から重たい文明堂のカステラの木箱が出てきた。中には 50 年前の旅行の思い出スプーンがうっすらとサビを見せて現れた。整理すると、国、都市、名所、そして自然、生物等がスプーンの柄の先にエナメルで描かれているものがあった。



フランス、スコットランド、エジンバラのスプーン

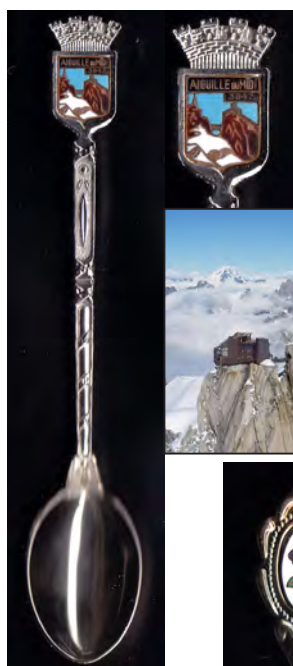
右の 3 図は図柄部分の拡大図



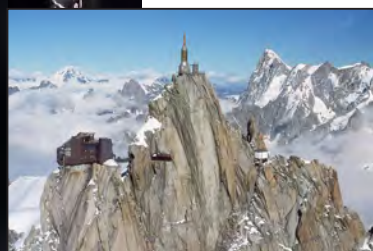
ランドマークをつけたポリネシアモーレア島のスプーン



フランス領ポリネシアモーレア島
1958 年発行



モンブラン山系の Aiguille du Midi の建造物をのせられた 3842m の山頂を描くスプーンとその写真



ノルウェーフィヨルドクルーズで購入した野花を描いたスプーン

他に比べ、工芸品を感じさせる。

これらのスプーン、画像からお判りのように、日用品としてはもちろん、日本ではとてもお土産の商品としても通用しない細工である。一部には金属部にバリが残っている始末、孫の玩具にも使用をためらうようなものである。どうか野草のスプーンが時にティースプーンとして使用できるか。若気の至り、ずいぶんくだらないものに散財したもんだと悔やまれる。

このほかに、アムステルダムの方車が回るもの、ゴンドラがゆれ動く物など手元にあるのが今となっては、恥ずかしいものがほとんどである。そんな中に口に入れる部分の裏側に模様を施したものがあつた。



スプーンの裏面を見るとチグハグ感を感じさせる

上のようなスプーンが舌に触れた時のなんともいぬ違和感、装飾目的以外に何か目的があるのか。上部に目を向けると、のっぺりとした金属面のまま、日本であれば、バランスをとった細工を求めらるのではないかと考えた。ふと写真を見て、これに似た切手があったのを思い出した。英国の Coronation Spoon の切手だ。

他にスプーンの切手が無いか探してみると思ったよりも見つかった。



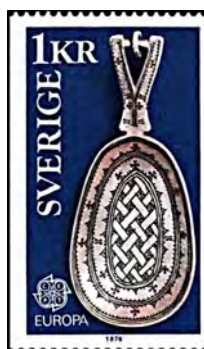
2011 年の発行
英国
Crown Jewels シ
リーズ 8 種の内の
1 種、下図 エリザ
ベス女王戴冠式の
スプーンの切手



1953 年のエリザベス女王戴冠式のスプーン

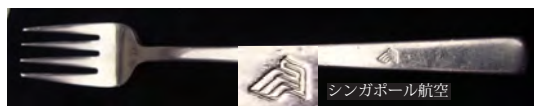


斬新なスプーンのドイツ、デンマークの切手と
伝統工芸のスプーンのルーマニア切手



欧州郵便電気会議 (CEPT)1976
年切手のテーマ「手工芸品」
で発行された切手
スウェーデン「オオシカ角のス
プーン」、ポルトガル「オリーブの木の木彫スプーン」

過去の散財を悔いながら散らばったスプーンを片付けていると、妻から「そんなスプーンより、生活に役立っている旅のおもいでのスプーンがあるんじゃない？」と言われた。「なに・・・？」と返すと、キッチンからジャラジャラ音をさせながら 10 本ほどのスプーン類を持ってきた。機内サービスのものをセルフサービスで機内持ち込みバッグに誤って落っことしたスプーン類であった。またも若気の至りを深く反省させられた。



BRITISH AIRWAYS のものは毎朝のトーストのバター、ジャムぬりに非常に使いやすいという家族の評価である。これらスプーンをまとめて扱ってみて、あらためて機内食の食器類の重さを考えさせられた。エコと二酸化炭素排出の問題、一方、代替プラスチックはゴミ問題が存在、今後どのようなスプーンが利用されるのか見ていきたい。

77匹の午 長谷部 晃

埼玉新聞に投稿

つれづれ

正月すぎに染色家のMさんの展示即売会があったので出掛けた。えとの動物をテーマにハンカチや壁飾りが展示されていた。中でも入り口前の壁にあった「午(うま)の群像」は見事だった。

家に帰ってきてから妻に「あの馬を77匹描いてもらった壁飾りができないだろうか」と話し合った。3月に迎える喜寿の記念品にどうかと思った。午年生まれで77歳、77匹の馬の壁飾りは面白いものだろう。

Mさんに電話すると「3月末までには間に合わないけど、時間がかかってもよかったですらやってみます」といって、お願いすることになった。4月末になって壁飾りが届いた。絵の両端に描かれている馬の頭や後ろ足は除き、

77匹の午

長谷部 晃

9列で76匹の馬が並ぶ。下の空きスペースに疾走する1匹を配して77匹の馬が描かれている。壮観だ。玄關の壁に飾って楽しんでい。 「ひょうたんから駒」といってわざもあるが、展示会を見て思い付き、最高の喜寿の記念品ができた。Mさんありがとう。大事にします。

(長瀬町、77歳)



【投稿規定】生活実感のあるもので500字。住所・職業・年齢を明記。他紙誌への二重投稿不可。送り先〒300-0800 埼玉新聞社編集局「つれづれ係」メールtsurezure@saitama-np.co.jp

2019.7.31 埼玉新聞 つれづれ欄



喜寿へ駆けてきた馬

切手ブーム時代の会員名簿

編集担当者の下に会員から終活の副産物と思われる古めかしいガリ版の文書が寄せられました。切手研究会会員名簿というもの。内容から 1963 年の新入会員に 2 年生以上の会



1963 年切手趣味週間

□□ □□ ?? という珍字ができる程でお判りと思います。その他の呼び名、インチキ、ミズ、インコ、black mori、ガチャコ、Etc.とにかく”悪い”の一語に尽きる。切手収集だけは熱心にやっている。最近、親友の Y 氏にガールフレンドができたので、池上線でキョロキョロ移動している。同氏宅を訪れる人は食べ物にうかつに手を出してはならない。

□□ □□ 埼玉の山奥から間違って早大に入った下駄男。毎日、麻雀で朝帰り。酒グセ、女グセ悪い、これで教師志望だが、教えられる生徒が可哀相だ。バスガールに淡い思いを寄せて、近頃、靴を履くようになった。顔に似ず胃腸が弱い。

□□ □□ 三河島事故で死にそこなった男。
黒ブチの眼鏡をかけ、身分証明書にカラー写真を貼っているキザな男。デザイン研によく顔を出す切手研にはあまり顔を出さない。顔じゅう鼻で埋まってる。

□□ □□ 城南高校切手研出身、それにしては切手の話をするのを聞いたことがない。ウワサだと破れた切手を集めてるらしい。 以下部分的に欠損

□□ □□ 江ノ島でモモ切りを働いていたが、最近ヤバくなったので大阪へ高飛びした。目下、??の清川虹子に色目を使っている。独特の節回しと哀愁に満ちた声で荒城の月を唄うと聞く人は涙をこらえきれない。ヤせているからフトった女性に興味を持つ。

□□ □□ 厚顔無恥の顔が年髪が濃いアイス系オヤジの会社の化粧品を無断で持ち出してガールハントしようとするが一向に成功しないのは人柄のせい。昨年度は大学郵連会長の肩書で悪事を働き、任期が終わった今もある目的のために郵連会合へノコノコかける。もと名投手であるが。現在は自由契約選手である。スグ頭にカッとするクセがある。

□□ □□ 昨年、雀荘から飛び出したときに
自動車とぶつかりを破壊した。ギリシャ哲学を専攻し
ている大阪出身の三悪人の一人。

□□ □□ 源氏物語を研究すると称して今東光を愛読、ノッソリとしているが女にかけては手が早い。麻雀をしないのはルールを憶える能力を持ち合わせていないかららしい。赤いチョッキを着て山に登るのが趣味。

□□ □□ イヤらしくもキリストと誕生日を同じくする失敬な性人。ガード下で学資を稼ぐ、最近ステコ4000着買いそこなった。氏の机の上から2段目の引出しの黒い袋に注意しろ。10歳の頃からタバコをたしなむ程度。女性心理学専攻。

□□ □□ 会費取り立てで世話になる。電信柱が百一本森永コーラス?? 00CMソングを得意とする。合宿の時は仲良くしておいた方がいい。○氏とは犬猿の仲。

□□ □□ 革命によってアラブから逃げてきた勇士。頭にターバンを巻きタスキがけ下駄ばきで中郵に現れる。一見愚連隊風。

□□ □□ 和製ペラフォンテ。悩ましい声で男性を悩ませる。オカッパ狩りのかわいい子ちゃん、但し目つきが悪い。パッチを右につけている。雀歴 8 年になると称してる。ニセ切手を集めているというウワサ。

□□ □□ 学院出身には珍しく聖物風。世間知らず 0 オボッチャン風。切手のことはよく知っている。

□□ □□ 純情可憐な男とはこの男の事を言うのかと思ったら、大まちがひ。ロシア語ができないのを苦にスペイン語に走ったが これもまた難しすぎてロシア語に走る傾向がある。目下研修中。

□□ □□ 赤いものを好む。ガガーリンのサイン
を持って喜んでいる。芦谷婦人に焦がれて

以下部分的に欠損



長寿切手の年輪を読む (4)

切手趣味週間切手

国土緑化、国民体育大会、国際文通週間、と長寿切手を偏見してきて、残ったのが切手趣味週間である。切手趣味週間切手(以後、趣味切手と略記)は1947年、「郵便切手の芸術性、美しさといった文化的価値を広く認識してもらい」、「切手収集の趣味の普及を図る」ために郵政省が郵便週間の行事の一環として設けられた切手趣味週間を記念して発行された切手である、最初の発行は北斎の富士1円普通切手を組み合わせた小型シートである。その後、未発行4年もあるが、73年間



1947年初の趣味週間で発行された小型シート。300万枚の発行で売れ残り多く、バラして売った局もあったとか、更に、5ヶ月後に12万枚に北斎百年祭記念と赤く加刷して記念小型シートとして発行



1954年趣味週間で発行された記念切手帳。製本の時間がなく製本できずペーンとなった切手帳?。タブの内容が異なる製本された普通切手帳が同じ日に発行されている。

に表1のように69件150種の切手が発行されてきた(小型シート、ペーン各1)。

全体を見て、過去整理した長寿切手に比べて種類、サイズ、発行枚数等、非常にバラエティに富んだ複雑な発行がされてきたことが判る。そんな中唯一統一されていると考えられるのが意匠である。意匠が全て国宝、重文も含む絵画であることが明らかである。トリミング、補正等は一部にされているが、切手のために描かれた意匠は全く見られない。その意味では趣味週間の目的「郵便切手の芸術性、美しさを認識してもらう」という目的に沿っているようである。

表2. 発行種数

種類	件数
1	34
2	21
3	2
4	3
5	1
6	2
10	4
SS・ペーン	2
総計	69

発行の種類数を整理すると非常にばらついた発行がされてきており、徐々に種類数が増えてきている。種類数と絵画分野とを整理したのが表3である。趣味切手という見返り、ビードロから浮世絵切手が多い印象であるが、発行件数では

近代絵画、種類では屏風が多くなって浮世絵の影が薄れてきている。最近のように屏風切

表3. 絵画分野と発行回数と種類

絵画分野	件数	種類	種類平均
近代絵画	25	31	1.24
浮世絵	17	26	1.6
屏風	17	71	4.2
江戸絵画	6	18	3
絵巻	2	2	1
襖絵	1	3	3
仏画	1	0	1
総計	69	151	平均2.3

表1. 切手趣味週間切手の発行一覧

番号	発行年	発行日	発行種	全枚数	原画	作者等	作品分野	W*H	備考
1	1947年	11月1日	小型S	300	山下白雨	北斎	浮世絵		
2	1948年	11月29日	1	150	見返り美人	菱川師宣	浮世絵	26*63.5	
3	1949年	11月1日	1	200	月に雁	広重	浮世絵	26*63.5	
4-7	1950年	～53年	発行なし		趣味週間に関連したと思われる	小型シート考慮			
8	1954年	11月20日	ペーン	6.5	観音菩薩像	(法隆寺)	仏画		
9	1955年	11月1日	1	550	ビードロを吹く娘	喜多川歌麿	浮世絵	33*48	
10	1956年	11月1日	1	550	海老蔵	写楽	浮世絵	33*48	
11	1957年	11月1日	1	850	まりつき	鈴木春信	浮世絵	33*48	
12	1958年	4月20日	1	2500	雨中湯婦り	鳥居清長	浮世絵	33*48	
13	1959年	5月20日	1	1500	浮世源氏	鳥文斎栄之	浮世絵	33*48	
14	1960年	4月20日	1	1000	三十六歌仙絵巻	藤原信実	絵巻	33*48	
15	1961年	4月20日	1	800	舞踊図屏風	作者不明	屏風	33*48	
16	1962年	4月20日	1	1000	花下遊楽図屏風	狩野長信	屏風	33*48	
17	1963年	4月20日	1	1450	本田平八郎姿絵屏風	作者不明	屏風	33*48	
18	1964年	4月20日	1	2800	源氏物語絵巻	作者不明	絵巻	48*33	
19	1965年	4月20日	1	3800	序の舞	上村松園	近代絵画	33*48	
20	1966年	4月20日	1	3500	蝶	藤島武二	近代絵画	48*33	
21	1967年	4月20日	1	3300	湖畔	黒田清輝	近代絵画	48*33	
22	1968年	4月20日	1	3000	舞妓休泉	土田麦僊	近代絵画	31*48	
23	1969年	4月20日	1	3151	髪	小林古径	近代絵画	31*48	
24	1970年	4月20日	1	3500	婦人像	岡田三郎助	近代絵画	33*48	
25	1971年	4月19日	1	4300	築地明石町	鎗木清方	近代絵画	27*48	
26	1972年	4月20日	1	5000	気球揚る	中村岳陵	近代絵画	27*48	
27	1973年	4月20日	1	5000	住吉詣	岸田劉生	近代絵画	27*48	
28	1974年	4月20日	1	5000	指	伊東深水	近代絵画	27*48	
29	1975年	4月21日	2	6000	松浦屏風	作者不明	屏風	31.5*42	
30	1976年	4月20日	2	4700	彦根屏風	作者不明	屏風	31.5*42	
31	1977年	4月20日	2	5000	機織図屏風	作者不明	屏風	31.5*42	
32	1978年	4月20日	2	4700	寛文美人図	作者不明	浮世絵	30*42	
33	1979年	4月20日	2	5000	立美人図	懷月堂安度	浮世絵	30*42	
34	1980年	4月21日	2	4800	春の野遊	西川佑信	浮世絵	30*42	
35	1981年	4月20日	2	4500	見立夕顔	鈴木春信	浮世絵	30*42	
36	1982年	4月20日	2	4500	待乳山雪見	鳥居清長	浮世絵	30*42	
37	1983年	4月20日	2	4500	台所美人	喜多川歌麿	浮世絵	31.5*42	
38	1984年	4月20日	2	4500	重の井	写楽	浮世絵	29*42	
39	1985年	4月20日	2	5000	北方の朝	竹久夢二	近代絵画	25*35.5	
40	1986年	4月15日	2	5000	南波照間	菊池契月	近代絵画	25*35.5	
41	1987年	4月14日	2	5000	化粧の女	橋口五葉	近代絵画	25*33.5	
42	1988年	4月19日	2	5000	長襦袢 帯	鳥居言人	近代絵画	25*33.5	小型シート
43	1989年	4月18日	2	4600	阿波踊り	北野恒富	近代絵画	25*35.5	小型シート
44	1990年	4月20日	1	9800	星を見る女	太田聰雨	近代絵画	25*35.5	小型シート
45	1991年	4月19日	2	11000	見返り美人	菱川師宣	浮世絵	25*33.5	小型シート
46	1992年	4月20日	1	3000	榻上の花	山口蓬春	近代絵画	25*33.5	
47	1993年	4月20日	1	5000	画室にて	堅山南風	近代絵画	25*35.5	
48	1994年	4月20日	1	5000	花菖蒲	福田平八郎	近代絵画	25*35.5	
49	1995年	4月20日	1	5000	画室の客	金島桂華	近代絵画	25*35.5	寄付金付
50	1996年	4月19日	1	5000	窓	安田靉彦	近代絵画	25*35.5	
51	1997年	4月18日	1	5000	醍醐	奥村土牛	近代絵画	30*42	
52	1998年	4月17日	1	5000	罌粟	小林古径	近代絵画	30*42	
53	1999年	4月20日	2	4000	兎春野に遊ぶ	堂本印象	近代絵画	31.5*42	卯
54	2000年	4月20日	2	5000	龍虎図	橋本雅邦	江戸絵画	42*33	辰
55	2001年	4月20日	1	3000	郵便投函の図	中村洗石	近代絵画	36.5*24.45	ポスト誕生 100年
56	2002年	4月19日	2	2500	賀茂競馬図屏風	作者不明	屏風	30*42	午・微小字
57	2003年	4月18日	1	2500	羊木昴兆風	(正倉院)	屏風	30*45	未・微小字
58	2004年	4月20日	1	2000	雨中椶五匹猿図	森狙仙	江戸絵画	30*45	申・楕円孔
59	2005年	4月20日	1	1600	大鷄雄雄図	伊藤若冲	江戸絵画	30*45	酉・楕円孔
60	2006年	4月20日	2	1200	朝顔獅子図杉戸	円山応挙	江戸絵画	25*35.5	戌・楕円孔
61	2007年	4月20日	6	3000	眠る猪	森一鳳	江戸絵画	25*35.5	亥・楕円孔
62	2008年	4月18日	5	2000	押絵張屏風	渡辺晋亭	屏風	25*35.5	(子)
63	2009年	4月20日	6	2000	牡丹	于非闇	江戸絵画	33*45	
64	2010年	4月20日	4	1800	龍虎図屏風	橋本雅邦	屏風	45*33	
65	2011年	4月20日	3	1800	郵便ノ使 音吉	豊原国周	錦絵	30*42	郵便創業 140年
66	2012年	4月20日	3	1800	籬に草花図襖	作者不明	襖絵	42*30	
67	2013年	4月19日	10	1600	四季花鳥図屏風	狩野元信	屏風	22.5*48	
68	2014年	4月18日	4	1300	菊二鶴図屏風	狩野永叔	屏風	30*42	
69	2015年	4月20日	4	1300	桐鳳凰図屏風	狩野探幽	屏風	42*30	
70	2016年	4月20日	10	1000	洛中洛外図屏風	狩野永徳	屏風	45*30	
71	2017年	4月20日	10	700	燕子花図屏風	尾形光琳	屏風	21.5*48	
72	2018年	4月21日	2	700	風神雷神図屏風	俵屋宗達	屏風	25.5*48	
73	2019年	4月19日	10	700	朝顔図屏風	鈴木其一	屏風	21.5*48	



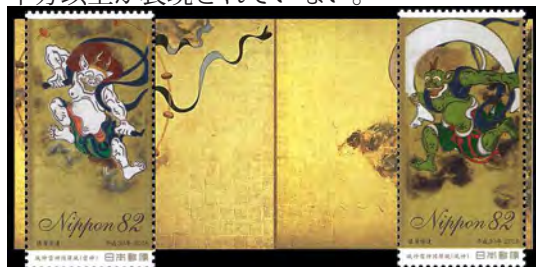
近代絵画 25 件

31 種

浮世絵 17 件 26 種 屏風 17 件 71 種

発行件数、種類の多い絵画

手の発行が続くとなると、ますます屏風切手の印象が強くなっていくのであろうか。屏風切手の発行にぜひ実現してほしいことがある。それは六曲の屏風を切り取りもしくはトリミングで 5 枚連刷で発行されているのを、6 枚連刷で原画を尊重し発行して欲しいと感じる。二曲一双の風神雷神図屏風さえ原画の半分以上が表現されていない。



風神雷神切手を原画に載せると



原画を尊重し連刷切手にすると

表 4. 切手サイズ比較

W×H mm	件	面積 mm	代表例
26*63.5	2	1651	見返り
33*48 & 14	1584		ビードロ
31*48	2	1488	舞妓休泉
33*45 & 2	1485		牡丹
30*45 & 4	1350		羊木昂兆風
31.5*42	5	1323	兎春野に遊ぶ
27*48	4	1296	築地明石町
30*42 & 12	1260		寛文美人図
21.5*48	2	1032	燕子花図屏風
25*35.5	11	888	北方の朝
25*33.5	4	838	化粧の女
42*33	1	1386	龍虎図
29.5*42	1	1239	重の井
25.5*48	1	1224	風神雷神図屏風
22.5*48	1	1080	四季花鳥図屏風
36.5*24.5	1	894	郵便投函の図

また、趣味切手は他の長寿切手に比べて目立つのが切手のサイズの種類が多さである。単純であるが印刷面の面積で整理したのが表 4 である。他



33*48 31*48 33*45 30*45
26*63.5 横*縦mm 左寄り大きい順の切手表示

の長寿切手よりサイズの大きい切手と見返り美人が代表する普通より縦に長い切手が多いことが目立つ。また、印刷面でも他の長寿切手がオフセット印刷になってきているのに、グラビア+凹版、グラビア・メタリックマルチイメージも含めすべてグラビア印刷であり、関連して外国での印刷と民間会社での印刷がないという違いがみられる。また、微細文字印刷、楕円孔穴（目打）がなされた発行がみられる。



2003 JAPAN POST

グラビア・凹版 グラビア・メタリックマルチイメージ 微小文字印刷
3 件 14 種 12 件 58 種 2 件

更に、趣味週間（楕円目打）4 件
更なる、趣味週間に他の目的を持たせて発行された切手が 3 件ある。1995 年阪神・淡路大震災寄附金付、2001 年赤い丸形ポスト誕生 100 周年、2011 年郵便創業 140 周年の意味を併せて発行されている。



1995 年
震災寄附金付

2001 年
ポスト誕生

2011 年
郵便創業 140
他に二種

別の目的に利用された趣味切手もある。1987 年から 1992 年に発行されたさくらメールの景品として小型シートになり 1988 年から 1991 年の 4 年間だけ発行されたり、別にタブ付きで発行されたり、いろいろいじくられた形跡が気になる特殊切手である。



意外に気づかれていないのが切手原画の内容に干支の動物が隠れている期間が存在することである。1999

年から2008年の10年間の絵画にはウサギ卯からネズミ子までが描かれている。



見返り美人、月に雁、ビードロと切手ブームの中心的に扱われた趣味切手の避けて通れないのが発行枚数であろう。ブーム鎮静化のために増刷を繰り返した切手もある。発行枚数の推移を整理したのが図1である。ブーム時の雨傘の後、長期にわたり発行数の多いことに驚かされ、1990、91に突出した発行がみられる理由が解らない。一方、2003年以降発行種類数は増えながら総発行

数も減じて1種類の切手の発行数が急激に少なくなり、2019年は1948年見返り美人の半数にも満たない70万枚ということになっている。この傾向とグリーティング切手、シリーズ切手のシール切手の発行とその増減の推移を比較すると図2、3のようになる。

趣味週間切手は1種平均1446万枚であるが、2000年までは2743万枚であるのに2000年以降は431万枚と6分の1以下になっている。切手発行の主役が切手趣味週間代表される特殊切手からシール切手のシリー

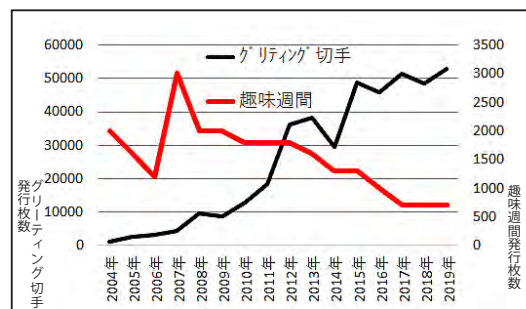


図2. グリーティング切手と趣味週間切手の発行推移



図3. シール切手と趣味週間切手の発行推移

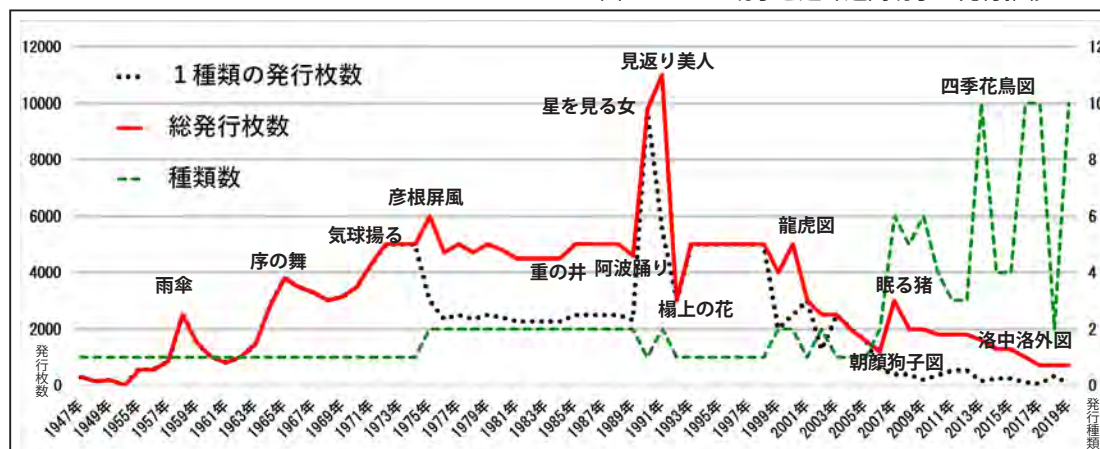


図1. 発行枚数の推移

2007年～12年のように種類によって発行枚数が異なる年は少ない値を表示

ズ、グリーティング切手にシフトしてしまっ
たと痛感させられる。

今回、週間切手を調べて、興味深いことを
知ることができた。見返り美人が発売当初は
その形から使用しにくいと不評で人気がなく、
売れ残りが生じていたという。また、事
前に記念押印用台紙までが用意された。



また、1950年～53年の趣味切手が発行
されなかった4年間に趣味週間を意図して
発行が予定された小型シートがあったとい
う。それは1950年11月1日の郵便週間初
日に普通切手と同時に発行された平等院鳳
凰堂24円の小型シートである。趣味週間記
念と発売を予定したが、切手乱発の批判を考慮
して、石山寺、姫路城小型シートと同じ形での
発行にしたという。翌1951年4月14日
に郵政記念日制定(1958年より切手趣味週
間を設ける)し、趣味週間の意味も含んだか、
郵便創始80周年記念小型シートを発行して
いる。この、趣味週間発行のない4年間の
切手発行種数の平均は43種程度で最近のば
かげた発行の500種類の10分の1にも満
たない、ゆっくり切手に、美しさ、芸術性と



いった文化的価値を見つけられる羨ましい発
行の時期である。

このように、趣味週間を見返り、前回の国
際文通週間切手を整理した時と同じく、その
意匠がすべて芸術品と位置付けられる絵画で
ある。魅力ある切手であり切手としては素晴
らしい切手が多い、しかし、切手収集という
趣味に結び付ける意味ではどうであろうか。
特に切手収集が絶滅危惧趣のような現在、切
手収集いう趣味が存在することを伝えるデザ
インが趣味週間切手に求められてもいるの
ではないだろうか。500種も切手が発行され
る今日、従来のような芸術品の切手に加えて、
切手収集趣味を周知する目的の持った切手と
2つの意味を持たせて切手趣味週間の切手発
行を期待できないだろうか。(編集子)



故 渡辺勝正 会員 稲魂賞受賞

このたび、故渡辺勝正会員が稲魂賞を受賞されました。この稲魂賞について、簡単に述べておきます。早稲田大学には、「小野梓記念賞」「体育名誉賞」「早稲田学生文化賞」の3つの学生褒章制度があります。早稲田大学校友会では、校友会活動への顕著な貢献をした方、学術、スポーツ、ボランティア、芸術活動などのさまざまな活動において成果を上げ、その活動によって校友を沸かせた方を校

友会稲魂賞（とうこんしょう）として表彰し、その栄誉をたたえ、記念品が贈呈されます。また、校友の中で校友および社会に感銘を与えるような活躍をした校友には校友会稲魂賞特別賞として表彰し、同じくその栄誉をたたえ、記念品が贈呈されます。杉原千畝の功績を広く世に伝えた故渡辺勝正会員の活動がこのような形で実を結んだことは大変嬉しく、また誇らしく思います。



2009 年 11 月 早稲田 祭 【「国際人とは何か」杉原千畝から考える】
パネルディスカッションでパネラーとしてユダヤ人のシベリア鉄道
利用の経過を説明する渡辺勝正氏

リトアニア凱旋帰国公演

オペラ 杉原千畝・人道の桜



杉原千畝 (1896-1985)

「命のビザ発給」から75年目にあたる今年、創作オペラ「杉原千畝・人道の桜」が、杉原の母校・早稲田大学の大隈講堂で上演される。

在野精神を貫いた杉原を称えるオペラ「人道の桜」は、杉原と亡きユダヤ人への讃嘆歌曲であり、生けるものへの応援歌である。



リトアニア杉原千畝凱国公演の桜



手稲田大寺境内の杉原彫像 (14号館前)



ウクライナ日本領事館前のユダヤ人

杉原千畝

運のしたこともたまたま外交官として関わったことだったかもしれない人、私は関わってきただけです。大したことをしたわけではない。

総指揮・作曲 = 安藤由布樹
脚本・演出 = 新南田ゆり
監修 = 渡辺隆正
出演 = 杉原千畝 = 水原理恵子
 幸子夫人 = 新南田ゆり
 下宿屋の女主人はる = 森澤 舞
 ユダヤ人サラ = 鈴木理恵子
 ユダヤ人ニシュリ = 藤刈伸明
 合唱 = 人道の桜合唱団
 ＊ 特別ゲスト = リトアニア 少女合唱団ウグネーレ

日時 2015年7月26日 (日) 15時開場 16時開演 (18時終演予定)

会場 早稲田大学・大隈講堂

「日本のシンドラ」杉原千蔵が世界で初めてミュージカル化!!

吉川晃司 ミュージカル初主演!!

中島みゆき ミュージカルへ初の作品提供!!

MUSICAL

SEMPO

〜日本のシンドラ〜 杉原千蔵物語〜

吉川晃司 幸平みれ
今和暹 影形美 森谷みはる 泉沢早平 幸島小恵 田村雄一
徳岡友子 滝内結見子 宇都宮直哉 岡本梨恵
宮本竜二 水澤洋行 あべちか守 河内晋一郎 沢本雅也

【東京公演】新国立劇場中劇場 2008年4月4日(金)～22日(火)
【大阪公演】新神戸サンプラザホール 2008年4月26日(土)～27日(日)
【福岡公演】新神戸サンプラザホール 2008年5月12日(金)～8日(木)

中島みゆき

吉川晃司

愛華みれ

今拓哉

彩野なお

2008年4月 新国立劇場で公演
ミュージカル SEMPO
渡辺勝正氏 監修

稲門フィラテリー 20 周年記念切手展 開催決定

下記の内容にて、稲門フィラテリー 20 周年記念切手展の開催が決定しました。まだ、未定の内容もございますが、会員の皆様には第一報としてお知らせいたします。展示内容や小型印、記念品の詳細は、決まり次第、次号以降の会報にてお伝えいたします。

日時：2020(令和2)年10月23日(金)、24日(土)、25日(日)
三日間とも 10:30～17:00

場所：切手の博物館 3階展示室
〒171-0031
東京都豊島区目白1-4-23

展示作品(予定)：

- ・早稲田大学関係作品 池澤克就氏(都の西北～早稲田大学125年の足跡)
 - ・国際展上位入賞会員 小林 彰氏、稲葉良一氏、鎌倉達敏氏、和田文明氏、榎沢祐一氏 ほか
- 小型印および記念品については関係部門と調整中。

【会員各位へのお願い】

切手展では、会員の皆様による「私の1リーフ」を展示することを考えております。内容は、収集内容に限らず、近況や思い出の写真など、自由です。準備のほど、よろしくお願いいたします。

お願い！！

大隈講堂切手のご提供

本年10月開催の稲門フィラテリー**創立20周年記念切手展**において、**記念カバー、小型印の作成**を予定しております。そして、その記念カバーに大隈講堂を描いた切手(写真)を貼付したいと考えております。しかし、その切手の販売は、既に終わっているため、入手に苦勞しております。その入手方法について、幹事会などで検討した結果、会員諸兄姉にお願いしてはどうかとの結論に達しました。そこで、誠に不躰なお願いではございますが、大隈講堂切手を余分にお持ちの会員の皆様、その切手をご寄付いただけませんか。是非ともご賛同いただきたくお願い申し上げる次第です。なお、ご賛同いただけます時は、下記宛、ご送付頂きたく、併せてお願い申し上げます。



宛先 〒236-0046 横浜市金沢区釜利谷西5-8-8 青柳次男

2020年3月1日 記念切手展実行委員長 荒木寛隆
稲門フィラテリー会長 青柳次男

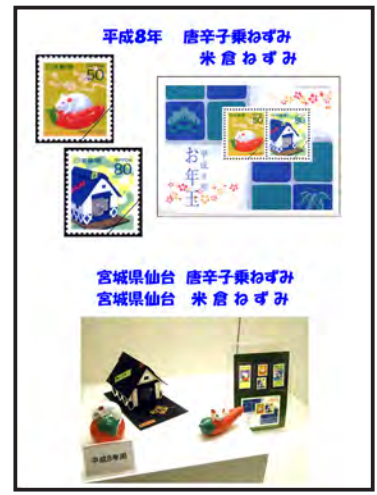
第49回 稲門フィラテリー常設切手展 「昭和～平成 子年の年賀郵便切手」

平成24年12月からの常設展では翌年の平成25年が巳年であるので「昭和～平成巳年の年賀郵便切手」と題して、昭和から平成に至る日本で発行された巳年の年賀郵便切手、お年玉切手シート、およびその題材になった郷土人形（写真）を展示いたしましたところ、新宿北郵便局のお客様から予想を超える好評をいただきました。

これを受けて、新宿北郵便局と稲門フィラテリーでは毎年12月常設展では翌年の干支の年賀郵便切手を中心に展示をしようということになり、今回で7回目になりました。

今回は令和2年が子年になることから昭和34年11月発行の米くいねずみ（石川県金沢）を題材にした昭和35年用年賀郵便切手を含めて「昭和～平成 子年の年賀郵便切手」と題して展示しました。

記 磯野昭彦



第49回 稲門フィラテリー常設切手展
「昭和～平成 子年の年賀郵便切手」

開催日時： 令和1年12月7日～令和2年3月上旬
会場： 新宿北郵便局1階特設展示コーナー（ATMコーナー隣）
主催： 稲門フィラテリー（専ら切手研究会08の会）
後援： 新宿北郵便局
内容： 今後は日本で昭和～平成に発行された子年の年賀郵便切手、お年玉切手シート、およびその題材になった郷土人形・玩具（写真）の展示です

昭和12年(1937年)の年賀状です
特記1 切手は昭和12年用年賀郵便切手を使用
特記2 消印は住吉郵便局 1月1日付年賀状用消印を使用

新宿北郵便局と稲門フィラテリーでは、今後も常設の切手展を、毎月1階特設展示コーナーで開催いたします。



会員執筆の他出版物執筆記事

2019年に刊行された郵趣誌、書籍に掲載された会員の記事を以下にまとめました。他にございましたら編集部までご連絡ください。

執筆者	刊行年月日	掲載誌	No	題名
小林 彰	2019.12.25	切手研究 第480/481合併号	480・481	ペイル兄弟洋菓子店3題斬
小林 彰	2020.3月 発行予定	JPS 英国切手研究会会報 3月号		外国印刷会社の日本進出秘話・国際証券印刷(株)

町田で切手教室開催

1月11日、町田市子どもセンターにて井上会員の切手教室が開催された。日本郵趣協会の池原理事長も参加され、多くの参加者でにぎわった。



★稲門フィラテリー常設展 新宿北郵便局 第49回「昭和～平成 子年の年賀郵便切手」



■編集後記

先日、早稲田通りにある明治元年創業の老舗八幡鮓を初めて訪問しました。学生時代はおろか社会人になっても敷居をまたぐのを躊躇っていたのですが、店内には「紺碧の空」作曲者の小関裕而の色紙が飾られているなど風格を味わうことができました。今一度、早稲田界限を歩いてみるといういろいろと発見があるものですね。稲門フィラテリー存続のため、皆様の寄稿をお待ちしております。(池)

2月1日幹事会

1. 故渡辺勝正会員が早稲田大学稲魂賞を3月に受賞する旨の報告
2. 稲門フィラテリー20周年切手展について、会期、小型印、展示物、出品予定者の状況など報告
3. ホームページの作成について
4. 井上会員による切手教室について

会報購読会員入会

会報購読会員1名が入会しました。
和田鞆彦氏(小川会員紹介)

★切手教室 新宿北郵便局

157回 2月1日 講師都合で中止
158回 3月7日 コロナウイルス
感染予防のため中止

ミニ情報

UPUのサイト切手発行情報から日本切手のMy旅行レターブックの切手等、一時は郵便会社が販売品という苦し紛れの名称で発行された切手は無視し、掲載されてないようです。

発行日：2020年3月1日

発行・著作：稲門フィラテリー

発行人：青柳次男

〒150-0002

渋谷区渋谷1-11-3 正栄ビル4階

(株)英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：池澤克就 小川義博

本会報からの無断掲載・複製は、メディアを問わず禁止します。